

2015年度  
(第5期)  
事業報告書

自 2015年1月1日  
至 2015年6月30日

一般財団法人 杉浦地域医療振興財団

## I. 事業の概要

### 1. 主な活動の概況

当財団は、本年7月1日に公益財団法人に認定されました。そのため、本年1月1日から6月30日は、一般財団法人杉浦地域医療振興財団としては最後の決算となりました。

但し、当財団の事業計画は1年間を前提として策定されているため、本年度は6か月間の変則的決算となることから、特に、前年度との対比では不自然な説明となる部分もありますので、ご了承ください。

以下に、本年度の事業の概要について、報告いたします。

#### (1) 地域医療の振興に関わる活動等に対する助成と褒賞(定款第4条第1項第1号)

前年度に引き続き「杉浦地域医療振興助成」(以下「杉浦助成」という。)、  
「杉浦地域医療振興賞」(以下「杉浦賞」という。)の第4回募集・選考・授与式を開催し、また、第3回助成の報告会を行いました。

但し、杉浦助成の助成金の支給は6月末に実施したので、本年度の支出として計上していますが、杉浦賞の贈呈式、第3回助成の報告会は7月9日に実施したため、関連する費用は公益第1期に計上しています。

#### (2) 地域医療の振興に係る社会実験への助成、参画(定款第4条第1項第2号)

##### a. 都市型の看護介護医療等連携研究会

都市型の看護介護医療等連携研究会は、6月で終了し、8月よりは「認知症」をテーマとして新たに研究会を開催しました。

これまでの都市型の看護介護医療等連携研究会の成果として地域医療連携モデルの構築と社会実験に向けての研究会の報告書「都市型の看護介護医療等連携研究会講演集」Vol.3を作成、配布を開始しました。

##### b. 医薬品適正使用協働研究会

年間予定6回の内、本年度には計画通り3回開催しました。  
地域包括ケアの中で、医薬品適正使用の観点から、チーム医療における協働を進めることを目的といたします。

##### c. 愛知県地域再生・まちづくり研究会

準備会を1回、研究会を3回開催しました。

人口急減・超高齢化という大きな課題に対し地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を再生できる地域、まちをつくることが望まれています。しかし、現在多くの課題が湧き上がっています。研究会では、可能な限り住み慣れた地域で生活を継続することができる包括的な体制の構築を目的として開催しています。

(3) その他前条の目的を達成するために必要な事業（定款第4条第1項第6号）

a. 「健康増進セミナー」の継続開催

東名阪の主要都市において「健康増進セミナー」と題して年間10回の計画の内、6回を企画・開催しました。

b. 「認知症フォーラム」を共催（2015年2月東京）

(4) 医師、薬剤師、看護師等の医療従事者及び介護福祉従事者の育成に対する事業（定款第4条第1項第3号）

「地域包括ケアを担う薬剤師の為にインターネット研修」15講座を追加して30講座まで増やしました。7月以降で10講座増やし、日本薬剤師研修センターの単位認定の40単位分を集めることができるようにいたしました。

## 2. 決算の概況

### (1) 正味財産増減計算書

第5期におきましては、経常収益は75,858,983円、経常費用は41,593,142円(内、事業費は33,593,642円、管理費は7,999,500円)で、この結果、当期経常増減額は34,265,841円となりました。

これから公益化に伴い不要となる備品の廃棄損や税金等を控除した結果、当期一般正味財産増減額は34,181,268円となり、一般正味財産期首残高が27,514,380円でしたので、一般正味財産期末残高は61,695,648円となりました。

指定正味財産は、株式会社スギ商事の第1種優先株式の配当が株式の払戻しとして処理されることにより75,630,000円減少し、期末残高は20,847,910,372円となりました。

以上の結果、正味財産期末残高は20,909,606,020円となりました。

### (2) 貸借対照表

現金及び預金等の流動資産は現預金が34,675,248円増加したことを主因に、51,721,147円となりました。増加の理由は、スギ商事の配当が昨年度は5月に1株当たり1,000円、11月に1株当たり1,500円実施されましたが、今年度は、5月に1株当たり2,500円実施されたことによります。

固定資産では、スギ商事の優先株及び基本財産として受け入れた寄附金を運用した投資有価証券が75,635,643円減少して、20,847,981,269円、その他の固定資産として、健康増進セミナーでの体組成測定の為に購入したInBody機器が2,428,085円、会計ソフトのソフトウェアが112,800円、設立時のその他財産を運用した投資有価証券が10,070,897円となり、資産合計は20,912,314,198円となりました。

負債については、事務局員の人件費、法人クレジットカード等の未払金2,582,830円等が主たるもので2,708,178円となりました。

## II. 事業報告

### 1. 地域医療振興に係る助成・褒賞事業

#### (1) 地域医療の振興に関わる活動等に対する助成

[第4回杉浦地域医療振興助成]

助成の対象	地域医療振興の分野で、優れた活動や研究を行っている個人・団体に対して、今後より有意義な活動や研究の成果を期待して助成金を付与します。
募集・選考結果	2015年1月1日～2015年2月28日を募集期間とし、学会、特定団体を利用して候補を募集した結果、128件の応募がありました。 その内14の個人・団体に対して総額 19,272,936 円を助成しました。
授与式等	2015年7月9日に帝国ホテル東京にて、第4回杉浦地域医療振興助成授与式と第3回助成の成果発表会を実施いたしました。

#### (2) 地域医療の振興に関わる活動等に対する褒賞

[第4回杉浦地域医療振興賞]

褒賞対象	地域医療を振興し、国民の健康と福祉の向上に優れた成果をおさめ、住み慣れた地域で安心して、その人らしく住み続けることを支援する活動を行った団体・個人の取り組みについて、その主体者である団体・個人を対象に表彰します。
募集・選考結果	2014年10月1日～2014年12月31日を募集期間とし、諮問委員の推薦9編、及び一般推薦3編、計12編の応募がありました。その内5の個人・団体を褒賞対象に選定しました。
授与式等	2015年7月9日、帝国ホテル東京にて、第4回杉浦地域医療振興賞贈呈式を実施いたしました。

以上の外、助成・褒賞の募集、選考等に要した費用は 1,172,174 円です。

その内訳は、下記のとおりです。

費 目	金 額	摘 要
選考費用	1,097,144 円	謝金、会場費等
資料費	18,190 円	
その他	56,840 円	消費税等

[第4回選考委員]

役名	氏名	略歴
委員長	伴 信太郎	名古屋大学大学院医学系研究科 総合診療医学講座 教授
	網岡 克雄	金城学院大学薬学部 医療薬学 教授
	雨師 みよ子	一般社団法人 大阪府訪問看護ステーション協会 副会長
	安藤 明夫	中日新聞社 医療担当編集委員
	安東 直紀	宮津市役所 理事 元 京都大学大学院 工学研究科・医学研究科 安寧の都市ユニット 特定准教授
	井伊 久美子	公益社団法人 日本看護協会専務理事
	上野 桂子	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 監事 社団法人 全国訪問看護事業協会 副会長
	遠藤 英俊	国立長寿医療研究センター 内科総合診療部長 長寿医療研修センター長
	葛谷 雅文	名古屋大学大学院医学系研究科発育・加齢医学講座 地域在宅医療学・老年科学分野 名古屋大学医学部附属病院・老年内科 教授
	白澤 政和	桜美林大学大学院老年学研究科 教授 日本学術会議会員
	高瀬 義昌	医療法人社団 至高会 たかせクリニック 理事長 公益財団法人 日米医学医療交流財団 専務理事
	田中 雅子	社会福祉法人富山県社会福祉協議会 富山県福祉カレッジ 教授
	山本 陽子	株式会社ケア・ビューティフル 代表取締役 介護福祉士 産業カウンセラー

(注)選考委員長を除いて五十音順に配列

## 2. 地域医療連携モデルの構築と社会実験に向けての研究会

### a. 都市型の看護介護医療等連携研究会

都市型の看護介護医療等連携研究会は、本年度 5 回開催して6月で終了しました。

都市型の看護介護医療等連携研究会の成果として地域医療連携モデルの構築と社会実験に向けての研究会の報告書「都市型の看護介護医療等連携研究会講演集」Vol.3を作成しました。

本研究会の実施に要した費用の総額は 3,371,832 円で内訳は下記の通りです。

費 目	金 額	摘 要
会議費等	1,277,581 円	弁当代、資料代等
講師料等	520,000 円	
交通費	1,339,751 円	宿泊費も含む
報告書・通信費	23,266 円	
その他	211,234 円	消費税等

第29回から第33回(最終回)のテーマと講師は下表の通りです。

	テーマ	講 師	
第29回 (1月)	共助のチカラで支える高齢社会～Living in place～	中野 智紀	東埼玉総合病院 地域糖尿病センター センター長
第30回 (2月)	今後の認知症施策の方向性について	勝又 浜子	国立保健医療科学院 統括研究官
	認知症に関する新たな戦略について	水谷 忠由	厚生労働省 老健局高齢者支援課 認知症・虐待防止対策推進室室長
第31回 (3月)	「地域連携と多職種協働」～地域包括ケアシステムを評価する試み～	太田 秀樹	医療法人アスムス 理事長
第32回 (5月)	NPO 町田市つながりの開の取り組み	前田 隆行	特定非営利活動法人町田市つながりの開 理事長
第33回 (6月)	在宅でこそ その人らしく	辻 彼南雄	一般社団法人ライフケアシステム代表理事

【研究会メンバー】

研究会での役割	氏名(敬称略)	所属・役職
座長	大島 伸一	独立行政法人 国立長寿医療研究センター 総長
副座長	秋山 正子	白十字訪問看護ステーション 代表取締役・統括所長
副座長	小山 剛	社会福祉法人 長岡福祉協会 理事・評議員・執行役員 高齢者総合ケアセンターこぶし園 総合施設長
アドバイザー	田中 滋	慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授
アドバイザー	辻 哲夫	東京大学 高齢社会総合研究機構 特任教授
アドバイザー	齋藤 訓子	公益社団法人日本看護協会 常任理事
会 員	阿部 智子	訪問看護ステーション けせら 管理者
〃	宇都宮 宏子	在宅ケア移行支援研究所 代表
〃	大澤 光司	株式会社 メディカルグリーン 代表取締役社長
〃	川越 正平	あおぞら診療所 院長
〃	小玉 剛	こだま歯科医院 院長
〃	椎名 美恵子	有限会社 ふれすか 訪問看護ステーション みけ 代表
〃	高砂 裕子	社団法人 南区医師協会 南区メディカルセンター 訪問看護ステーション 管理者
〃	長尾 和宏	医療法人社団 裕和会 長尾クリニック 理事長
〃	中澤 明子	社会福祉法人 せんねん村 総合施設長
〃	新田 國夫	医療法人社団つくし会 理事長
〃	長谷川 宜史	社会福祉法人 高浜市社会福祉協議会 事務局長
〃	馬袋 秀男	株式会社ジャパンケアサービスグループ 代表取締役社長兼 CEO
〃	藤田 正之	医療法人 仁医会 常務理事 法人本部長
〃	船木 良真	三つ葉在宅クリニック 理事長
〃	宮路 博	社会福祉法人 京都福祉サービス協会 居宅本部長
〃	山村 由美子	社会福祉法人 長岡福祉協会 高齢者総合ケアセンターこぶし園 24時間ケアサービスステーション リーダー

(会員は五十音順)



研究会での役割	氏名	所属・役職
オブザーバー	木全 真理	東京大学高齢社会総合研究機構特任研究員
	杉浦 立尚	笑顔のおうちクリニック 院長
	高瀬 義昌	医療法人社団 至高会 たかせクリニック 理事長
	辻 哲	ヘルスケアパートナーズ株式会社 顧問
	日栄 優	社会福祉法人 京都福祉サービス協会 西京事務所 所長
	久常 節子	前 公益社団法人日本看護協会 会長
	宮島 俊彦	前 厚生労働省 老健局長
	森 貞述	介護相談・地域づくり連絡会 会長(元 高浜市長)
	吉井 靖子	社会福祉法人 長岡福祉協会 高齢者総合ケアセンターこぶし園 介護・看護部長
	吉江 悟	東京大学高齢社会総合研究機構特任研究員

(五十音順)

#### b. 医薬品適正使用協働研究会

医薬品適正使用協働研究会を本年度に3回開催しました。

本研究会の実施に要した費用の総額は1,498,977円で内訳は下記の通りです。

費目	金額	摘要
会議費等	728,574円	弁当代、資料代等
講師料等	340,000円	
交通費	333,377円	宿泊費も含む
その他	97,026円	消費税等

第3回から第5回までのテーマと講師は下表の通りです。

	テーマ	講師	
第3回 (2月)	薬局と薬局薬剤師の役に立ち方は？	五十嵐 中	東京大学大学院薬学系研究科医薬政策学 特任助教
	薬局現場での取り組み「ブラウンバッグ運動」「残薬及び重複処方実態調査」	金澤 幸江	一般社団法人土浦薬剤師会 会長
第4回 (4月)	高齢者における向精神薬の使い方	水上 勝義	筑波大学大学院人間総合科学研究科 スポーツ健康システム・マネジメント科学専攻 教授

	テーマ	講師	
第5回 (6月)	臨床から基礎へ、そして 臨床へー障害を有する 患者に適する薬の剤形 ー	倉田なおみ	昭和大学薬学部 社会健康薬学 講座 地域医療薬学部門 教授
第6回 (8月)	ポリファーマシーにつ いて	徳田 安春	地域医療機能推進機構 (JCH O) 研修センター長・総合診療 教育チームリーダー
第7回 (10月)	高齢者の薬物療法にお ける多剤投与の現状と 減薬の取り組み	古田 勝経	愛生館小林記念病院褥瘡ケアセ ンター長 (国立長寿医療研究セ ンター特任研究員)
第8回 (12月)	医薬品適正使用に関す る薬剤師の関わり～ポ リファーマシーの回避 ～	平井 みど り	神戸大学医学部附属病院薬剤部 薬剤部長

【研究会メンバー】

役割	氏名(敬称略)	所属・役職
座長	秋下 雅弘	東京大学大学院医学系研究科加齢医学 東京大学医学部附属病院老年病科 教授
副座長	倉田 なおみ	昭和大学薬学部 社会健康薬学講座 地域医療薬学部門 教授
副座長	鈴木 裕介	名古屋大学地域包括ケアシステム学講座 准教授
副座長	水上 勝義	筑波大学大学院人間総合科学研究科 スポーツ健康システム・マネジメント科学専攻 教授
	飯島 勝矢	東京大学高齢社会総合研究機構 准教授
	五十嵐 中	東京大学大学院薬学系研究科医薬政策学 特任准教授
	大谷 道輝	東京通信病院 薬剤部 副薬剤部長
	大井 一弥	鈴鹿医療科学大学 大学院薬学研究科 薬学部 治療・病態学分野 臨床薬理学研究室 教授
	恩田 光子	大阪薬科大学 臨床実践薬科大学研究室 准教授
	川添 哲嗣	医療法人つくし会 南国病院
	金澤 幸江	一般社団法人土浦薬剤師会 会長
	亀井 浩行	名城大学薬学部 病院薬学研究室 教授
	亀井 美和子	日本大学薬学部 実践薬学系 医療コミュニケーション学研究室 教授
	小島 太郎	東京大学医学部附属病院 老年病科 助教
	後藤 恵子	東京理科大学薬学部薬学科 健康心理学研究室 教授
	佐藤 啓	公益財団法人日本薬剤師研修センター 常務理事
	杉浦 伸一	名古屋大学大学院医学系研究科 医学教育研究支援センター 特任研究部門 医療行政学 特任准教授
	杉浦 昭子	公益財団法人 杉浦記念財団 理事長
	鈴木 匡	名古屋市立大学 薬学部 臨床薬学教育研究センター 教授
	清野 敏一	帝京平成大学 薬学部薬学科 教授
	高瀬 義昌	医療法人社団至高会 たかせクリニック 理事長
	中西 弘和	同志社女子薬科大学 医療薬学科 臨床薬学教育研究センター 教授
	伴 信太郎	名古屋大学大学院医学系研究科 総合診療医学講座 教授
	平井 みどり	神戸大学医学部附属病院薬剤部 薬剤部長

	福島 紀子	慶応義塾大学 薬学部 名誉教授 一般社団法人慶應義塾大学部KP会 副会長
	古田 勝経	愛生館小林記念病院 褥瘡ケアセンター長 (国立長寿医療研究センター特任研究員)
	堀 美智子	医薬情報研究所 株式会社エス・アイ・シー
	丸岡 弘治	医療法人社団協友会 介護老人保健施設 横浜あおばの里
	溝神 文博	国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 薬剤部
	山浦 克典	慶応義塾大学 薬学部 教授 附属薬局薬局長 薬学博士
	山中 崇	東京大学医学部在宅医療学拠点 特任准教授
	湯本 哲郎	星薬科大学 薬剤師職能開発研究部門
	吉尾 隆	東邦大学薬学部医療薬学教育センター 臨床薬学研究室教授 薬学博士 精神科専門薬剤師
	渡辺 謹三	東京薬科大学 薬学部 一般用医薬品学教室

(会員は五十音順)

役割	氏名(敬称略)	所属・役職
オブザーバー	浅井 文和	朝日新聞社東京本社科学医療部 編集委員
	池野 敬	国立障害者リハビリテーションセンター 研究所 福祉機器開発部 非常勤研究員
	寺崎 省子	朝日新聞社東京本社科学医療部 記者
	根本 英一	株式会社 南山堂 「薬局」編集部 編集長
	古川 晶彦	株式会社 南山堂 編集部 編集長
	間宮 郁子	国立障害者リハビリテーションセンター研究所 福祉機器開発部
	吉田 学	厚生労働省 大臣官房審議官(医療介護連携担当)
	平野 悌志	医療法人社団松和会 池上総合病院 循環器内科

(五十音順)

c. 愛知県地域再生・まちづくり研究会

新しく愛知県地域再生・まちづくり研究会を準備会を合わせて4回開催しました。

本研究会の実施に要した費用の総額は1,494,731円で内訳は下記の通りです。

費 目	金 額	摘 要
会議費等	703,814 円	
資料費等	15,304 円	
講師料等	280,000 円	
交通費	403,636 円	
その他	91,977 円	消費税等

準備会から第3回までのテーマは下表の通りです。

	テーマ
準備会 (1月)	「愛知県地域再生・まちづくり研究会」準備委員会
第1回 (4月)	超高齢化社会における愛知県の地域づくりまちづくりの課題
第2回 (5月)	超高齢化社会における愛知県の地域づくりまちづくりとは何か
第3回 (6月)	課題提起 1 研究会の方向性 2 健康概念について 3 共有すべき基本的現状と未来予測分析

愛知県地域再生・まちづくり研究会参加メンバー

役割	氏名(敬称略)	所属・役職
座長	大島 伸一	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 名誉総長
	石田 芳弘	至学館大学 伊達コミュニケーション研究所所長 (元犬山市長)
	伊藤 文郎	国民健康保険中央会 常任監事 (元津島市長)
	大沢 勝	愛知県社会福祉協議会 会長 学校法人日本福祉大学 名誉総長
	亀井 春枝	居宅介護支援事業所 (有)はじめの一步 代表
	北川 薫	梅村学園 学事顧問 (前中京大学 学長)
	長谷川 敏彦	一般社団法人未来医療研究機構 代表理事
	森 貞述	介護相談・地域づくり連絡会 (元高浜市長)
	森 道成	オリーブ薬局 代表取締役
	安井 俊夫	愛知県総合看護福祉専門学校 もりのがくえん 校長
	山本 保	愛知県政策顧問「改革の風フォーラム」代表
	杉浦 昭子	公益財団法人 杉浦記念財団 理事長
オブザーバー	青柳 治郎	愛知県健康福祉部医療制度改革監
オブザーバー	小林 弘和	中部経済産業局 地域経済部次世代産業課 ヘルスケア産業室 室長補佐
オブザーバー	出村 嘉朗	中部経済産業局 地域経済部次世代産業課 ヘルスケア産業室長
オブザーバー	丹羽 則雄	愛知県社会福祉協議会 企画室長
オブザーバー	原口 真	国立長寿医療研究センター 企画戦略局長
オブザーバー	大森 政弥	中日新聞 編集局 編集委員
(会員は五十音順)		

3. 講座、セミナー事業（一般人対象）

a. 「健康増進セミナー」の開催

前年度より継続して、東名阪の市町村単位で年 10 回計画の内、6 回開催しました。

これに要した費用は 1,286,699 円でした。

費 目	金 額	摘 要
講師料等	1,200,000 円	1 回 20 万円×6 回
講師交通費	86,699 円	

「健康増進セミナー」の開催日、開催都府県、受付人数は以下の通りです。

開催日	開催都府県	受付人数
2015 年 1 月 10 日	東京都	673
2015 年 2 月 14 日	大阪府	936
2015 年 3 月 14 日	群馬県	466
2015 年 4 月 18 日	兵庫県	728
2015 年 5 月 16 日	三重県	771
2015 年 6 月 27 日	愛知県	1,225

計 4,799 名

各会場の講師は、下表の通りです。

東京	田中 栄	東京大学医学部附属病院 整形外科・脊椎外科 教授
	本間 昭	日本認知症ケア学会 理事長
大阪	楽木 宏実	大阪大学大学院医学系研究科 内科学講座 老年・腎臓内科学 教授
	吉川 秀樹	大阪大学大学院医学系研究科 器官制御外科学(整形外科) 教授
群馬	好本 裕平	群馬大学大学院医学系研究科 脳神経外科学分野教授
	倉林 正彦	群馬大学大学院医学系研究科 臓器病態内科学 教授
兵庫	芳川 浩男	兵庫医科大学内科学 神経内科 主任教授
	西村 善博	神戸大学医学部附属病院 呼吸器内科 特命教授
三重	伊藤 正明	三重大学医学系研究科循環器・腎臓内科学 教授
	鈴木 秀謙	三重大学大学院医学系研究科 臨床医学系講座 脳神経外科学 教授
愛知	室原 豊明	名古屋大学大学院医学系研究科循環器系内科 教授
	大原 弘隆	名古屋市立大学病院 総合内科 部長

b. 「第 2 回認知症医療介護推進フォーラム」共催

東京で第 2 回を実施しました。

その費用は 3,124,629 円

c. 介護予防・認知症予防の為に運動 DVD の増刷（1000 枚）

191,261 円

d. 公益財団法人日米医学医療交流財団への寄附 50 万円

#### 4. 講座、セミナー事業（専門家対象）

医師、薬剤師、看護師等の医療従事者及び介護福祉従事者の育成に対する事業（定款第4条第1項第3号）

「地域包括ケアを担う薬剤師の為にインターネット研修」を30講座まで増やしました。

これに要した費用は937,179円でした。

費 目	金 額	摘 要
撮影費用等	650,000 円	5 万円×13 回
日本薬剤師研修センター認定代金	176,647 円	
その他	110,532 円	消費税等

（収入：受講料22名、127,779円）



### III. 事務報告

#### 1. 役員

2015年6月末現在の役員氏名は下記の通りです。

役名	氏名	略歴
理事長	杉浦 昭子	スギホールディングス株式会社 代表取締役副社長
理事	秋下 雅弘*	東京大学大学院医学系研究科教授(老年病学・加齢医学)
	井口 昭久	愛知淑徳大学 健康医療科学部 スポーツ・健康医科学科 教授 名古屋大学 名誉教授
	大島 伸一*	国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 名誉総長
	杉浦 伸哉*	株式会社スギ薬局医療事業統括本部 統括部長
	高瀬 義昌	医療法人社団 至高会 たかせクリニック 理事長 公益財団法人日米医学医療交流財団 専務理事
	中井 加代子	公益社団法人愛知県看護協会 監事
	鍋島 俊隆	名古屋大学 名誉教授 NPO 医薬品適正使用推進機構 理事長
	野本 慎一	滋賀県立リハビリテーションセンター 所長
	久常 節子	元 国際医療福祉大学大学院 副大学院長 元 公益社団法人日本看護協会 会長
	山村 恵子	愛知学院大学 臨床薬剤学講座 教授
監事	神谷 誠	デトロイトトーマツ税理士法人 名古屋事務所 所長
	平野 晃	公認会計士 元 新日本有限責任監査法人 シニアパートナー

(注1) 理事長を除いて五十音順、敬称略

(注2) \*は、2015年3月12日に新しく理事に就任いただいた方

(注3) 2015年3月12日にご退任された理事は、塩川満先生

## 2. 評議員

2015年6月末現在の評議員氏名は下記の通りです。

役名	氏名	略歴
評議員会長	杉浦 広一	スギホールディングス株式会社 代表取締役会長
評議員	荒井 秀典*	国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 副院長
	上野 桂子	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 監事 社団法人全国訪問看護事業協会 副会長
	木村 隆次	公益社団法人青森県介護支援専門員協会 副会長 一般社団法人青森県薬剤師会 会長
	葛谷 雅文	名古屋大学大学院医学系研究科 発育・加齢医学講座 地域在宅医療学・老年科学分野 名古屋大学医学部附属病院・老年内科 教授
	倉田 なおみ*	昭和大学 薬学部 社会健康薬学講座 地域医療薬学部門 教授
	白澤 政和	桜美林大学大学院老年学研究科 教授 日本学術会議 会員
	杉浦 克典*	株式会社スギ薬局 常務取締役事業本部長
	鈴木 匡	名古屋市立大学薬学部 臨床薬学教育研究センター 教授
	高橋 紘士*	一般財団法人高齢者住宅財団 理事長
	田中 滋*	慶應義塾大学 名誉教授
	辻 哲夫*	東京大学 高齢社会総合研究機構 特任教授
	水流 聡子	東京大学大学院 工学系研究科 化学システム工学専攻 医療社会システム工学寄附講座 特任教授
	豊田 百合子	大阪保健福祉専門学校 副学校長 元 公益社団法人大阪府看護協会 会長
伴 信太郎	名古屋大学大学院医学系研究科 総合診療医学講座 教授	

(注1) 評議員会長を除いて五十音順、敬称略

(注2) ※は、2015年3月12日に新しく評議員に就任いただいた方

(注3) 2015年3月12日にご退任された理事は、  
唐澤祥人先生、橋本俊明先生

### 3. 事務局組織

2015年6月末現在における財団・事務局組織は以下の通りです。

#### (1) 職員構成

事務局長 1名  
経理係 1名  
企画係 1名  
総務係 1名  
理事会

本年度における理事会は次の通り開催しました。

開催年月日	議 事	摘 要
2015年3月12日 (第10回定例理事会)	【決議事項】 「平成26年度(第4期)事業報告書」 「決算報告書」等の承認 第4回杉浦地域医療振興賞の承認 審査委員会規則の承認、選考委員会 規則の変更の承認	
2015年4月17日 (臨時理事会)	【決議事項】 理事長(代表理事)に杉浦昭子氏を 選定	書面決議
2015年5月13日 (臨時理事会)	【決議事項】 第5期 予算の修正の件 第4回 杉浦地域医療助成の承認	書面決議

#### 4 評議員会

本年度における評議員会は次の通り開催しました。

開催年月日	議 事	摘 要
2015年3月12日 (第5回定時評議員会)	【決議事項】 「平成26年度(第4期)事業報告書」の報告並びに平成26年度(第4期)貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録の承認 定款の変更の承認 評議員、理事、監事の選任	
2015年4月17日 (臨時評議員会)	【決議事項】 評議員会長に杉浦広一氏を選任	書面決議
2015年5月12日 (臨時評議員会)	【決議事項】 役員、評議員の報酬規程変更 定款一部変更	書面決議

以上

## 事業報告の附属明細書

2015年度(第5期)の事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書について、特に「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成していません。

2015年9月

一般財団法人 杉浦地域医療振興財団